

職場体験学習で学んだこと

7月2日（水）に職場体験学習が行われました。様々なところで貴重な体験をすることができました。今回はいくつかの職場で学んだことを紹介します。

— 臨床検査技師（ ） —

私は今回、職場体験で臨床検査技師を選択し、寿泉堂病院で体験をしてきました。臨床検査技師の仕事内容は、DNA・尿の検査、顕微鏡を使っての細菌の検査、人間の解剖など、私たちが病院に行っても、あまり目にすることがない職場で、重要な仕事に携わっているのだと知ることができました。

私が今回、職場体験を通して感じたことは臨床検査技師の行う仕事が、病気の原因等を明確にし、医師を通じて患者の命を助けている、病院内での大切な裏ではたらく、二人目の医師みたいな存在なんだと実感しました。



— 工務店（ ） —

今日の体験学習では、建築現場で手伝いをしました。使い終わった木材を運んだり、ドリルでねじを木材に差し込んだりしました。他にも断熱材を床にはめ込むなど、力仕事を中心に手伝いました。少し動くだけですぐ汗をかいてしまい、とても大変な仕事だということがわかりました。

今回の職場体験学習では仕事をすることがどれだけ大変か、家がどのように作られているのかがよくわかりました。建設業も自分の進路のひとつとして考えてみようと思いました。

— 洋菓子店（ ） —

私は「お菓子の家アリス」という洋菓子店に行きました。そこでは実際にお菓子を作っているところを間近で見ることができたり、お菓子を作るときのポイントなども詳しく教えていただいたりすることができました。また、ロールケーキを作る体験もしました。大変な作業もあったけれど自分で作ったロールケーキはとてもおいしかったです。

今回の職場体験学習では、美味しく可愛いお菓子売っている裏ではすごく大変な努力があったのだと強く感じさせられました。自分の将来にもつながるので、たくさん貴重な体験ができて良かったです。1時間半という短い職場体験ではありましたが、いろいろなことを学べて、楽しく、充実した時間を過ごすことができました。



— 市立美術館（ ） —

私たちは7月3日に美術館で職場体験学習をしました。計画をたてている時はそれほど緊張はしていませんでしたが、いざ出発直前となると体がこわばって肩にすごい力が入るほどガチガチ状態でした。

美術館に着いて、学芸員や係の人にあいさつすると、思っていたより明るく気さくな方々が多く、安心しました。

ついに体験が始まって、担当者の鈴木さんから作品の温度・湿度の管理や資格についての話を受けました。その後、一般の人は行けないような巨大エレベーター、作品を展示するための用具室等をたくさん見て回りました。最後の実習は、実際に絵を壁に飾る方法を教わりました。ワイヤーやフック等を使って、けっこう体力が必要で難しかったです。

この体験で私は、美術館というのはたくさんの裏方で成り立っているんだなあと感じました。たくさんの方が協力して多くの方が喜べる環境を作って作っているのはすばらしいと思いました。



新聞記者 ()

私は、今回の職場体験学習で新聞記者の大変さを知りました。

福島民友に行き、すぐに安積幼稚園に取材をしに行きました。その訳は日時が過ぎていたからです。新聞記者は、事前に取材する事の資料を取り決められた場所、日時、内容をしっかり把握しなければならないからです。安積幼稚園では参観日で七夕祭をしていました。実際にカメラを持たせてもらい、園児たちの写真を撮ることができました。園児たちの願い事を書いた短冊には「ウルトラマンになりたい」とか、「クレープ屋さんになりたい」など、個性あふれる事が書かれていました。その後、たから幼稚園、ホテルハマツ、福島銀行にも行きました。取材の途中、担当の後藤さんが新聞の文章の書き方を教えてくれました。新聞の文章は起承転結で書き、5W1H(いつ、どこで、だれが、どうした)を忘れないことです。

最後に福島民友に戻り取材してきたことをふまえ新聞をまねて、紙に書いてみました。普段文章を書くより文章の構成をしっかりしていて職場の方から教わったことがちゃんといかせていてよかったです。



これ以外にも多くのことを学ぶことができたようです。次週は各職場へのアンケートの結果から、みなさんに求められることについて紹介したいと思います。

ネットに潜む危険



3日(木)に防犯教室が行われ、携帯電話やスマートフォンの危険や、ネット依存症についての話がありました。なかでも具体的な事例を再現したビデオを見ると、使い方次第ではいつ被害にあってもおかしくないことがわかりました。

さて、私はこのビデオの中で気になった場面がありました。一日中スマホでのゲームに没頭している子に対し、父親が「何のために買ってやったと思っているんだ」としかるシーンです。かつての携帯電話は「連絡を取るツール」でしたが、スマートフォンは「電話機能もついた多機能小型パソコン」です。「何のため」と言われれば「遊ぶため」に使う割合が9割ではないでしょうか？スマートフォンを持った瞬間から「24時間遊べる誘惑」「SNSの楽しさと危険」「ウイルスによる犯罪行為の幫助(ほうじょ、手助けをすること)の危険」といったものから逃れることはできません。すでにスマートフォンを持っているだけでなく、これから購入を考えている人も真剣にその危険性を考える必要があると、強く感じました。

来週・再来週の予定(下校時刻6:45)

日	曜	時程	給食	行事予定
7	月	A 6	○	
8	火	A 6	○	
9	水	A 6	○	
10	木	B 5	○	集金日 小中連携公開(2・3年は5校時で下校、部活動なし) 木1・3・4・5・6の授業
11	金	B 5	○	集金日 時間割一部変更 金1・2・3・木4・金5
14	月	B 6	○	美化週間、専門委員会 学年集金(夏休み課題1000円、16日まで)
15	火	A 6	○	体育祭(3~6校時)
16	水	A 6	○	
17	木	A 6	○	
18	金	特別	なし	水6の授業、大掃除、終業式 部活動がある生徒のみ弁当持参